

# わる気と感動

学校だより20号  
平成29年  
12月15日(金)

## 内船歌舞伎公演 南部中一年生 伝統文化をつなぐ

12月3日(日曜日)午前中には資源回収が行われ、大勢の生徒・保護者、そして地域の皆さんのご協力をいただきました。ありがとうございます。ここ数年は連続して収益が減少していましたが、今年度はなんと50%も増加しました。生徒や保護者の皆さんの働きかけや積極的な回収、そしてなにより、地域の皆さんの温かいご協力のおかげだと感謝しております。今後、体育文化後援会補助金、輝城祭生徒会補助金など、公費ではまかなえない部分に充てさせていただきます。本当にありがとうございます。

その日の午後には、内船歌舞伎公演が開催され、本校の一年生が輝城祭に続き「吉例曾我一対面の間」を披露させていただきました。当日は駐車場も一杯となり、客席も満席で立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。

今回は輝城祭では出演者しなかった生徒が出演し、練習は学校が終わってから文化ホールへ移動して行うなど、大変な面も多かったと思いますが、無事公演を終えることができました。たまたま今回は内船出身の生徒は出演しておらず、南部町各地域の生徒の出演となりました。各地域の中学生の出演が、内船歌舞伎の南部町全体への広がり、少しでも貢献できたのではないかと思います。

今回も熱心にご指導いただいた、内船歌舞伎保存会の皆様には心より感謝申し上げます。

## <生徒会役員選挙終了> 正副会長決定!

生徒会役員選挙で、生徒会長 若林宥河さん 副会長 稲葉百花さん 熊王大輝さんが当選しました。

今後生徒会事務局が生徒会長より任命され、12月21日の生徒総会以降に活動開始となります。今回の選挙戦には6名の2年生が立候補しました。自分で立候補を決意し、活動方針を考え、学級訪問でのあいさつ、立ち会い演説会で方針を全校生徒の前で訴えるなど、今までに経験したことのないプレッシャーや緊張も味わったと思います。その一つ一つが立候補した6名のこれからの力となり、南部中生徒会の大きな力となっていきます。先頭に立った6名と2年生全員が、これからの生徒会を力強くリードしてくれることを期待します。

## 南部中を『安全で安心して生活できる学校』に!

二学期中頃から、落ち着きのない学校生活、周囲を思う気持ちに欠ける行動が一部に見られるようになり、全校集会で注意を促しました。(『気づき』の集会) その場では多くの生徒が『気づき』『考える』事ができたと思いますが、しばらくするとまた落ち着きに欠ける行動(サイレントゾーンを静かに歩けない、教室棟から時々大声が響く、廊下などを走る、給食時必要以上に盛り上がる、朝読書などの時間がルーズ、けがにつながるふざげ合いなど)が見られるようになりました。そのような中で、けがをしたり体を痛めたりする件が2件起りました。そこで、全校生徒に、『今の南部中は、安全で安心して生活できる学校とは言い切れない。これは当事者だけの問題ではなく、落ち着きのない学校生活がそれを生み出している。生徒も先生も南部中全員で、安全で安心して生活できる学校づくりを本気になって考え行動していこう。』と呼びかけ、「すぐできること」を三項目、「今学期中にやること」を一項目確認しました。その後それぞれの立場で活動が始まり、生徒会では、12月の生徒総会の特別議題に設定し、話し合いの方向性等を代表委員会で確認しました。きっと今学期中にしっかり改善へ向かっていけると思います。

みんなではっきりとした目標に向かって取り組む行事(輝城祭、音楽発表会、各種大会など)には、素晴らしい成果を残せた南部中ですが、日常生活で個人の責任や判断、モラルで行動する場面で弱さや甘さ、足りなさがあります。まだまだ未熟な個人だから、みんなで目標を持って取り組んでいきたいと考えています。

中学校時代に、少なくとも自分の周囲を思いやる力をつけて欲しいと願っています。やがてその力が、地域社会、日本、アジア、世界(直接見えないところまで)を思いやることに繋がっていくと思うからです。